

2024 全日本卓球選手権大会ジュニアの部広島県予選
競技上の注意

審判長 中元 孝司

1. 適用ルールについて

- (1) 現行の日本卓球ルールを適用することを原則とする。
- (2) 公認のユニフォームを着用し、2023年度の日本卓球協会登録のゼッケンをつけること。
- (3) 使用球は「ビクタス社製スリースターボール」のみとする。
- (4) タイムアウト制を採用する。1マッチにつき1回1分以内のタイムアウトを取ることができる。
- (5) アドバイザーのベンチ入りはベスト16決定戦以降より認める。ベンチ入りを希望するアドバイザーは事前に本部へ届け出ること。アドバイスの時間は1分以内を厳守すること。

2. 進行について

【一次予選】

- (1) 1回戦からベスト16決定までトーナメント、その後4人×4ブロックの1次リーグ戦を行い上位2名が二次リーグに進出。
- (2) トーナメントの2回戦まではベンチコール方式で行う。ベンチコール方式とは事前に選手を集めて揃った対戦から試合を行うやり方である。
- (3) 1次リーグ戦の試合順は同じ所属の対戦を優先して行う。

【二次予選】

- (1) 一次予選を通過した男女各8名によるリーグ戦で上位3名を決定する。
- (2) 1次リーグの試合結果(1試合分)を持ち越す。
- (3) 試合順は同じ所属の対戦を優先して行う。

3. 審判について

【一次予選】

- (1) 男子の第1試合の審判は、トーナメントの後ろから2回戦スタートの選手29名で行う。
女子の第1試合の審判は2回戦スタートの選手とトーナメントの後ろから1回戦の選手29名で行う。
- (2) 1次リーグは、選手1名につき所属から1名の審判員を依頼し、他の対戦の審判を行う。

【二次予選】

- (1) 参加選手1名につき所属から1名の帯同審判員を依頼し、他の対戦の審判を行う。